

会議録

会議の名称	平成28年度 第2回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成28年10月13日（木） 午後7時から8時40分まで
開催場所	保谷庁舎 別棟B・C会議室
出席者	委員：赤澤委員長、廣瀬副委員長、有賀委員、岸上委員、小堀委員、 中平委員、西田委員、山本委員、藤江委員、湯山委員 事務局：田中文化振興課長、林文化振興係長、工藤文化振興係主査
議題	1 平成28年度第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について 2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について 3 「平成28年度施策・事業評価（平成27年度分）」調査結果について 4 その他
会議資料の名称	【事前配付資料】 1 「平成28年度施策・事業評価（平成27年度分）」調査結果一覧 2 文化芸術振興計画中期（平成27年度分）の取組実施報告 【当日配付資料】 1 平成28年度第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案） 2 計画中期の取組実施報告について 別紙① 「対話による美術鑑賞」体験会アンケート集計結果 別紙② 西東京市「対話による美術鑑賞」事業に関するアンケート集計結果 <参考資料> ・「オープニングイベント」チラシ ・西東京市民文化祭総合プログラム
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>《開会》</p> <p>○委員長： ・定足数と出席している委員を確認</p> <p>（配付資料について）</p> <p>○事務局： ・事前配付資料として2種類、当日配付資料として2種類（別紙①②含む）、参考資料として市民文化祭のオープニングイベントチラシと総合プログラムを配付。</p>	

議題1 平成28年度第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について

- ・委員各位より承認された。

議題2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について

- ・事務局から当日配付資料2に基づき説明。別紙①②については、後でゆっくり見ていただきたい。

【実施プログラム②「対話による美術鑑賞」事業の推進】

（アートミーる3期生募集及び選考状況）

○事務局：

- ・アートミーる3期生として19人が合格して、今回初めて男性2人が参加することになった。すでに研修は5回を終了しており、男性メンバーも馴染んでいるとの報告を受けている。

（市民向け「対話による美術鑑賞」体験会）

○事務局：

- ・市民向け体験会についてはすでに6回開催しており、11/20（日）には新町で開催されるくいしんぼのさんぽ市で体験会を予定している。
- ・体験会はアートミーる主導で行っており、田無神社境内で行われたやおよろずのさんぽ市に参加したり、保谷こもれびホールエントランスで開催された西東京フィルのロビーコンサート終了後に行ったりして、3期生募集のPRに努めた。
- ・3期生応募者のほとんどが体験会に参加していることから、体験会を多く開催した効果が現れた。

（アートミーる研修）

○事務局：

- ・アートミーる1期生、2期生はフォローアップ研修を行っており、3期生の研修にも参加して交流を図っている。

（小学校における「対話による美術鑑賞」事業の実施）

○事務局：

- ・小学校ではすでに6校で実施しており、本日保谷第一小学校で実施したところである。

（美術館における「対話による美術鑑賞」事業の実施）

○事務局：

- ・美術館訪問授業については、6月28日に田無小学校が武蔵野美術大学美術館で実施し、10月19日には保谷第一小学校が練馬区立美術館で実施予定である。当日は朝井閑右衛門展（空想の饗宴）が開催されており、子どもたちが楽しめる作品が多く展示されている。

（アートミーるの主な広報活動）

○事務局：

- ・FM西東京の2番組にアートミーるから合計4人が参加し、「対話による美術鑑賞」

事業及びアートミーる3期生2次募集をPRした。

また、西東京サマーフェスティバルでは、会場内のペDESTリアンデッキでチラシ・リーフレットを配りながらアートミーる3期生2次募集をPRした。

【実施プログラム③多摩六都フェア事業の推進】

(多摩六都フェア「映画制作プロデュース体験ワークショップ」)

○事務局：

・今年度は、多摩六都フェア「映画制作プロデュース体験ワークショップ」を実施し、受講生を30人募集したところ34人の応募があり、最終的には32人に参加していただいている。

プロット(あらすじ)の募集には29作品の応募があり、10月下旬に受賞者及び作品名を保谷こもればいホール、市ホームページに掲載予定である。

【実施プログラム④文化ボランティアの育成】

(会場係ボランティア)

○事務局：

・会場係ボランティアには、すでに3回の保谷こもればいホールでの公演に参加していただいております、10月15日には避難訓練つきコンサートに参加していただく予定である。

また、11月1日号の市報で新たに10人程度募集予定である。

【実施プログラム⑤文化芸術情報収集・発信の仕組みづくり】

(主な広報活動(市報以外)＜文化振興係分＞)

○事務局：

・主な広報活動としては、FM西東京の積極的な出演や西東京市動画チャンネル(YouTube)で平成26年度の多摩六都フェア制作作品「あの惑星の名は」の放映を行った。

また、西東京市は健康都市宣言をしており、加盟している健康都市連合日本支部の大会冊子に西東京市の健康事業として「対話による美術鑑賞」事業の内容が掲載された。アートは心の栄養となり健康につながるといわれているので。

【その他】

(市民文化祭)

○事務局：

・市民文化祭のポスター・総合プログラム表紙使用の絵画・写真の募集については、24作品の応募があり、入賞3作品が選ばれた。

・10月5日から8日までアスタビル2階センターコートで市民文化祭PR inアスタを実施し、1,121人の来場者があった。

○委員：

・10月22日から11月15日にわたって市民文化祭が行われる。10月22日のオープニングイベントは文化祭のダイジェスト版であり、昨年に引き続き、西東京市の歴史の映像も上映する。今年度は、国の史跡に指定されている下野谷遺跡を取り上げた。

小中学校、高校の参加も増え、また、ポスター・プログラム用の応募作品も増え内容も充実してきたところである。

議題3 「平成28年度施策・事業評価（平成27年度分）」調査結果について

- ・事務局から事前配付資料1に基づき説明

○事務局：

・平成28年度施策・事業評価（平成27年度分）調査結果を取りまとめ、事前に委員の皆様へ送付させていただきました。昨年同様、施策18の行政の取組（所管課作成の平成27年度主な実績、評価の理由、今後の展開）を御覧いただき、評価できる点、努力を要する点、今後実施すべきことなどについて、昨年度の評価コメントを参考にいただきながら、施策の通し番号①から⑤までの御意見をいただきたい。

なお、計画の複数の施策を効果的に推進するために、5つの実施プログラムを定めており、実施プログラムに該当する計画の取組には、＜実施プロ該当＞と入れてあるので、その取組を中心に御意見をいただきたいと思っているが、もちろん、＜実施プロ該当＞以外の取組に対する御意見でも構わない。

（施策番号① 多様なメディアによる情報提供）

○委員：

- ・市のウェブサイト更新に伴って、文化振興課として新たな取組は行ったのか。

○事務局：

・西東京市動画チャンネル（YouTube）が新たに設けられたので、平成26年度多摩六都フェア制作作品「あの惑星の名は」を放映している。まだ見ていない委員の皆様は、是非御覧いただきたい。

○委員：

・計画で文化の香りあふれるまちを目指しているのであれば、まだまだウェブを活用できない高齢者も多いので、文化芸術通信などを作成し、ここに行けば何が見られるというような情報を発信すべきである。ひばりタイムスなどでも施設の情報を掲載している。

○委員：

・こもれびホールで実施していないことの問い合わせも多くある。こもれびホールの指定管理者は、中野区でスポーツも含めた情報誌を作成している。行政はアウトソーシングを検討してもいいのでは。

○委員：

・メディアの特性、PR戦略を考える人が必要であるので、こちらもアウトソーシングを上手く活用すべきでは。

（施策番号② 幅広い年齢層が参加できる体験・鑑賞機会の充実）

○委員：

- ・こもれびホールでの公演実施の際に、臨時バスを出すなどしてみてもいいのでは。

○委員：

- ・昨年度2回実施したが、あまり好評ではなかった。ピストン輸送だとお客様が待つて

いられないし、他の駅にも行かないのかななどの苦情もあった。

・公演終了後のカフェラウンジはなみずきの営業も行ったが、帰ってしまう客が多くカフェは赤字となってしまうのが現状である。

○委員：

・こもれびホールは市の北東に位置しており、芝久保町、向台町の市民が足を運びにくい。文化祭の実施場所についても、配慮する必要があるのではとされている。

・保谷駅に向うバス便が少ないので、西武バスにも検討してもらいたいのでは。

○委員：

・西東京市の2大祭りである市民まつり、市民文化祭については、多くの市民が参加しており、一定の評価はできるが、実行委員会とは別に、公募市民などで市民まつりと市民文化祭を考える機会も作るのでは。

○委員：

・市民文化祭は、5月に市報等で広く参加を募っており、市民なら誰でも参加できる。参加約200団体の代表が実行委員となっており、実行委員は2、3年で交替するのが普通である。実際、新しい参加者も多くおり、小学校にも参加要請をするなど広く広報もしている。

○委員：

・市民まつりの実行委員会の主要なメンバーは毎年同じようだが、予算はどのように組んでいるのか。

○事務局：

・市民まつりは、補助金交付要綱に基づいて適正に対応している。過去の経緯があって今の実行委員会形式となっているが、新しいことを行っていくことは必要であると考えている。

・市民まつりは補助金、市民文化祭は文化振興課が予算を持っているというように、実行委員会と行政との係わり方が異なっている。

○委員：

・市民に対して門戸を開いていけばいいと思う。無理やり市民に参加してもらう必要はないのでは。

○委員：

・伝統を継続していくことは良いことだと思うので、伝統を尊重しつつ少しずつ改善していくといいのでは。

○委員：

・こもれびホールの改修工事を行ったと思うが、舞台音響が良くなった。舞台担当の対応も良くなり事前打合せがスムーズになった。

○事務局：

- ・平成27年度は、舞台照明の改修工事等を行った。
(施策番号③ 子供達の参加の機会の充実)

○委員：

- ・「対話による美術鑑賞」授業を学校で実施して、とても良かったと思う。小学校で実施できるのが月2校程度だと、学校が忙しい時期に当たってしまうと学校としては大変になってしまうので、学校が繁忙期でない月に3校から4校で実施できないのか。アートミーアの人数が増えれば可能なのか。

○事務局：

- ・現状からすると月の実施校数を増やすことは難しいと考えているが、11月30日に開催予定の教育委員会との調整会議で検討していきたい。西東京市のアートミーアは3期生を含めて現在約40人登録しているが、先進事例の神奈川県大和市では、ボランティアが約50人登録していてもあまり余裕がないという話を聞いている。無償のボランティアということもあり、実施当日に人数を確保するのに苦慮している状況である。

(施策番号④ 個人及び団体活動のきっかけづくり)

○委員：

- ・図書館で実施している講座のレベルが非常に高い。地元の文化人を招いて良い講座を実施していると思う。

○委員：

- ・自己評価Aが多い中、健康課の自己評価Bはなぜか。

○委員：

- ・評価理由にある参加者が少なかったということからか。

○委員：

- ・いずれにせよ、他に比べて自己評価が厳しいということになると思うので、自己評価をAにしてもいいのでは。

○委員：

- ・映像制作ワークショップに参加させていただいたが、J:COMが講師となっていていろいろ教えていただいたので、素人にとってとても勉強になり、自分の技術をブラッシュアップすることもできた。都心のスタジオで音を収録したが、音が抜群に良く、人に自慢できる作品ができたと思う。

○委員：

- ・多摩六都フェア事業で映画をテーマとしたワークショップを数年間実施して、多くの市民参加があることはとても良いことだと思う。一つの映画というテーマを続けることで、映画が西東京市の文化となっていくと思う。市民活動も活発であり、西東京市の市民映画祭は秩父映画祭に匹敵するのではと思っている。

(施策番号⑤ 様々な人が参加しやすい環境づくり)

○委員：

・くらしの情報の多言語版を560部とあるが、もっと作成してもいいのでは。また、ホームページにも掲載した方がいいのでは。

○事務局：

・1か月に1回発行しており、ホームページにも掲載している。

○委員：

・西東京市に外国人はどのくらいいるのか。中国人が一番多いのか。

○事務局：

・現在3,000人以上（平成28年10月4日現在3,809人）住んでおり、中国、韓国、フィリピン、台湾、アメリカ合衆国の順が多い。

○委員：

・多摩六都フェア事業の映像に出演していた西東京市在住の台湾の方がとても良かった。

○委員：

・市民文化祭の中で行う日本の文化体験には、外国人を含む150人以上の参加が見込まれている。

○委員：

・日本の文化体験のチラシには、第1回と入れると良かったのでは。

○事務局：

・今後の施策・事業評価の流れについては、施策番号①から⑤までは、本日委員の皆様からいただいた御意見を参考に事務局で取りまとめるが、まだメールでも受け付けたい。施策番号⑥から⑱までも回答期限を決めて委員の皆様の御意見をいただきたいと思っている。具体的なスケジュールについては、メールでお知らせする予定であるが、次回の推進委員会では評価コメントをある程度確定したいと考えている。

議4 その他

○事務局：

・次回の開催については、11月16日（水）の午後7時から保谷庁舎1階会議室に決定。

《閉会》